



つつじ

ジェイシス税理士法人

〒543-0001
 大阪市天王寺区上本町
 8-9-23 JKPLACEビル2F
 TEL 06 (6770) 1801
 FAX 06 (6770) 1811
<http://www.jcss-tax.com/>

◆ 5月の税務と労務

5月

(単月) MAY

3日・憲法記念日 4日・みどりの日 5日・こどもの日

- 国 税/4月分源泉所得税の納付 5月10日
- 国 税/3月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 5月31日
- 国 税/9月決算法人の中間申告 5月31日
- 国 税/6月、9月、12月決算法人の消費税等の中間申告(年3回の場合) 5月31日
- 国 税/個人事業者の消費税等の中間申告(年3回の場合) 5月31日
- 国 税/確定申告税額の延納届出による延納税額の納付 5月31日
- 国 税/特別農業所得者の承認申請 5月17日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

地方税/自動車税・鉦区税の納付

都道府県の条例で定める日



グリーン住宅ポイント制度 グリーン社会の実現と住宅投資を喚起し、新型コロナで落ち込んだ経済回復を図るため、令和2年度第3次補正予算で決定された制度。令和2年12月15日から3年10月31日までに一定の省エネ性能を持つ住宅の新築や購入、リフォーム等を契約すると、「防災」などに対応した追加工事や商品と交換できるポイントが付与されます。

小惑星探査

小惑星探査機「はやぶさ」

「はやぶさ」は、惑星から表面物質を地球に持ち帰る技術を実証することを目的に2003年5月に打ち上げられました。そして2010年6月に、小惑星イトカワの表面物質を地球に持ち帰ること（サンプルリターン）に成功しました。

サンプルリターンには、①イオンエンジンを用いて惑星間を航行すること、②自律的な航法と誘導で接近・着陸すること、③微小な重力の下で表面の標本を採取すること、④採取した試料を再突入カプセルに入れて回収することの4つの技術が必要になります。はやぶさの帰還によって、これらの技術が確立されたことが実証されました。

はやぶさ2

「はやぶさ2」は、小惑星リュウグウを探査し、サンプルを持ち帰ることを目的に、2014年12月に打ち上げられました。2018年6月にはリュウグウに到着し、本格的な探査が始まりました。

はやぶさ2は、はやぶさの技術を受け継いで作られたので、両者の外観はよく似ています。はやぶさがミッションを行っている時に発生した様々なトラブルを踏まえて、はやぶさ2には大幅な改良が加えられまし

た。例えば、より多くのミッションデータを送信できるように“Kaバンド通信系”を追加したり、イオンエンジンについて電気力でそのイオンを加速して推力を高めたりしました。また、重さ2kgの銅を秒速約2kmで小惑星の表面に打ち出す衝突装置を搭載させました。これは小惑星に人工のクレーターをつくるのが目的で、これは世界初の挑戦でした。

リュウグウに到着後、2019年12月までの1年半で2度のタッチダウンやクレーター探索などの任務を終え、2020年12月にははやぶさ2は地球に帰還し、無事ミッションを成功させました。

今回の成功により、太陽系の起源・進化や生命の原材料物質の解明、深宇宙探査技術の発展などにつながることが期待されています。

小惑星

太陽系には、小惑星と呼ばれる小さな天体が多く存在しています。惑星は、この小さな天体が集まってできたと考えられており、小惑星を調べることは、太陽系が誕生した頃やその後の進化についての手がかりを得られる可能性があります。小惑星の大きさは様々で、直径が1,000km位のものから、小さなものでは数mの

ものも見つかっています。

はやぶさが探査したイトカワは、大きさが540m×270m×210mで2つの大きな塊をくっつけたような形をしています。はやぶさの探査に選ばれた理由は、小さいロケットでも行きやすく、エネルギーが小さくても行けるという理由からでした。はやぶさによる探査が行われるまでは、イトカワの表面には「レゴリス」と呼ばれる砂がれきの層が堆積していると考えられていました。実際には、レゴリスが堆積する地域とレゴリスに覆われていない地域が存在していました。レゴリスに覆われていない裸の小惑星の姿が観測されたのは、史上初めてです。

小惑星には、S型やC型、D型などがあります。S型の主な材料は岩石質と推定されていて、イトカワもS型に分類されます。これに対してはやぶさ2が探査を行ったリュウグウは、C型に分類されます。C型は、表面の岩石の中に有機物などを多く含むと考えられていて、採取したサンプルを調べることで、地球誕生の謎や海の水の起源、生命の原材料となる有機物の起源を探ることを目指しています。今年2月に行われたJAXAの発表によると、持ち帰った砂は地球の石に近い硬さだったようです。

老年医学とは

高齢化の進行具合については、65歳以上の人口が全体の7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」と呼びます。

日本では、1970年に高齢化社会に、1994年に高齢社会に、2007年には超高齢社会に突入しました。

今後も高齢化は進み、2025年には約30%に、2060年には約40%に達すると見られています。

このように高齢化が進む日本においては、高齢者の健康を維持するために、疾患や障害を適切に治療・予防することや加齢について研究する老年医学は、重要な領域です。

老年医学の必要性

高齢者の多くは、複数の臓器に障害をもっています。障害がある臓器を治すために薬を積み重ねる多剤服用によって、かえって身体に害をもたらすことがあります。また、高齢になると筋力が衰えて足腰に自信がなくなったり、認知症や転倒・骨折が増加したりという現象があらわれます。このように高齢者に対する医療は、若年成人を対象とする医療とは異なる特徴があり、専門的な知識が必要になります。

老年医学会

老年医学に関する研究の振興や知識の普及を目的とした一般社団法人日本老年

老年医学

医学会（以下、「老年医学会」）は、1959年に発足してから毎年1回学術集会を開催しています。2019年現在で6,400人以上の会員がおり、生活習慣病や老年病の領域における医療や研究従事者が、老年医学に関する諸問題に関わっています。

老年医学会では、老年医学の研究の振興や知識の普及をするために様々な事業を行っています。例えば2011年には、「健康長寿診療ハンドブック」を発行しました。

このハンドブックには、各種病態のスクリーニングから初期対応、専門医を紹介するタイミングなどが示されています。2015年には、高齢者で薬物に対して重症化した有害事象が多く発生していることから、「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」が発行されました。

老年病専門医

老年医学会では、老年病医学を担当できる資質の高い医師を養成し、高齢者の生理・病理や介護・看護の領域を理解し老年医療を包

括的に行うことができることなどを目的に、「老年病専門医」制度を設けています。

専門医になるためには、研修と資格認定試験の合格が必要で、2018年4月現在で1,460名が専門医として認定を受けています。

老年病専門医が所属する病院の一つに東京大学附属病院があります。この病院には老年病科があります。この病院では、患者の対象者を主に75歳以上としています。これは75歳以上の後期高齢者は、若年層とは異なった特徴を示すことが多いという日常の臨床経験から設定されたようです。高齢者に多くみられる病状について高齢者総合機能評価を積極的に行い、検査や治療などを行っています。2003年には女性専用外来が開設され、女性医師が女性特有の悩みから疾患まであらゆる諸症状に対応しています。

老年医学推進5か年計画

老年医学会は、最長寿国となった日本の高齢者医療についての様々な課題に対して、学会としてどのように対応していくのかを明確にするために、2018年に「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」を策定しました。

この計画では、老年医学・高齢者医療の普及や啓発、認知症への効果的な早期介入など、5つのテーマについて、どのような活動をすべきかについて取りまとめられています。

加湿器病

暖房を使うと室内の湿度が低下するので、その対策として加湿器を使用する人もいます。特に昨年は、新型コロナウイルスへの感染対策として、加湿器が例年より多く売れたようです。

加湿器を使用することは、適切な湿度が保たれるので、決して悪いことではありません。しかし適切に使用しないと、かえって健康被害を引き起こすこととなります。

加湿器病は、過敏性肺臓炎というアレルギー性の疾患です。咳や発熱、胸の痛みや全身の倦怠感など、風邪に似た症状ですが、重症化すると肺炎になることもあります。実際に大分県の特別養護老人ホームで、加湿器が原因による死亡例がありました。

加湿器病の原因は、加湿器の水にあります。水を交換しないまま使い続けると、水の中にカビや雑菌が繁殖し、それが蒸気とともに室内に放出され、それを長期間にわ

たって吸い込み続けることでアレルギー反応を起こします。

特に、免疫力の低い新生児や高齢者、抵抗力の低下した人が吸い込むと、肺炎になる可能性があります。

加湿器の加湿方式には、超音波式や蒸気式などがあります。このうち蒸気式は、水をヒーターで熱して蒸気にして加湿する方式です。加熱すると死滅する雑菌も多いので、比較的安全なものといえます。一方、超音波式はタンクの水に超音波をあてて霧状の水滴を放出させるので、水が雑菌に汚染されていると、そのまま室内に放出されることとなります。

また、これからの時期は加湿器を使わない人もいると思います。

ただし、カビの生えやすい時期ですので、タンクに水が残った状態で保管しておく、今年の冬に再度使用するとき雑菌が残った状態になっていますので、保管時のメンテナンスも重要です。

タダヤサイ

近年、食品の大量廃棄は大きな問題とされています。食品の廃棄というと、飲食店やコンビニエンスストアを思い浮かべる方も多いと思いますが、年間200万トンも出るといわれる規格外の廃棄野菜も同様の問題といえるでしょう。

この規格外の野菜に着目した「タダヤサイドットコム」というサイトが注目されています。

このサイトでは、規格外のために廃棄せざるを得ない野菜を出品してもらい、欲しい人を募ってプレゼントします。廃棄野菜を食べて気に入った人は、このサイトを通じて生産者から野菜を購入することができます。生産者にとっても、廃棄野菜を無料提供することで品質の良さをアピールすることができるというメリットがあります。

現在では、会員数は20万人を超えているそうです。

日の出

一年で最も昼間が長い日は夏至の日ですが、一年で最も日の出が早い日は夏至の日ではありません。日本では、日の出が最も早い日は夏至より一週間ほど早くなります。

昼間の長さは、太陽の高さで決まります。太陽が最も高いところを通過すると、それだけ空を横切る時間が長くなるので、昼間が長くなります。これが夏

至の日です。一方、日の出の早さは昼間の長さだけではなく、太陽の動き方も関係してきます。地球から見ると太陽は空を動いているように見えますが、動く速度は季節によつて違います。そのため、太陽が真南を通過する南中時刻は、お昼の十二時ではなく、年間を通じて変動しています。夏至の頃は南中時刻がどんどん遅くなっている時期なので、日の出もその分遅くなるのです。